

# 2015年3月期 決算説明会



**Money Partners Group**

株式会社 マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2015年5月8日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2015年5月8日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2015年3月期第4四半期の決算及び事業の概況
- II .2015年3月期第4四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

# I .2015年3月期第4四半期の決算及び事業の概況





## 2015年3月期第4四半期(2015/1-3) 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は、前四半期に続き約5千口座増と順調に増加。  
 預り証拠金も口座数の増加に伴い 前四半期比1.3%増の47,961百万円に。

総口座数	256,494口座	2015/3期3Q末比	2.1%増
預り証拠金	47,961百万円	2015/3期3Q末比	1.3%増

- ② 外国為替取引高は、2月から3月にかけてドル／円のボラティリティが低下したこと、大口高頻度取引の割合が大きく低下したことから前四半期比大幅に減少。

10-12月取引高	3,462億通貨単位	2014/10-12月比	30.8%減
-----------	------------	--------------	--------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高が大幅に減少した一方、取引高当たり収益性が大きく向上し、前四半期比ほぼ横這いの1,568百万円(前四半期比3.0%減)。経常利益は前四半期の実績には及ばなかったものの2010年8月のレバレッジ規制以降の最高水準となる498百万円(前四半期比3.1%減)を確保。

- ④ 四半期純利益は、特段の特別損益もなく前四半期比3.4%減の314百万円に。



# 2015年3月期 連結決算ハイライト(ご参考)

## 2015年3月期通期(2014/4-2015/3) 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は、前期末の235,807口座から20,687口座、8.8%増。  
 預り証拠金も口座数の増加等に伴い 前期末の44,348百万円から8.1%増。

総口座数	256,494口座	2014/3期末比	8.8%増
預り証拠金	47,961百万円	2014/3期末比	8.1%増

- ② 外国為替取引高は、4月から8月にかけての歴史的とも言える低ボラティリティの相場状況が影響し、前期の1兆6,168億通貨単位から20.7%減少。

2015/3期取引高	1兆2,817億通貨単位	2014/3期比	20.7%減
------------	--------------	----------	--------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高が大幅に減少した一方、ベースの収益力向上等により取引高当たり収益性が向上し、前期の5,257百万円から1.3%増の5,324百万円に。経常利益は、販管費が前期比0.9%減少する等の費用減少もあり前期の1,115百万円から10.8%増の1,235百万円に。

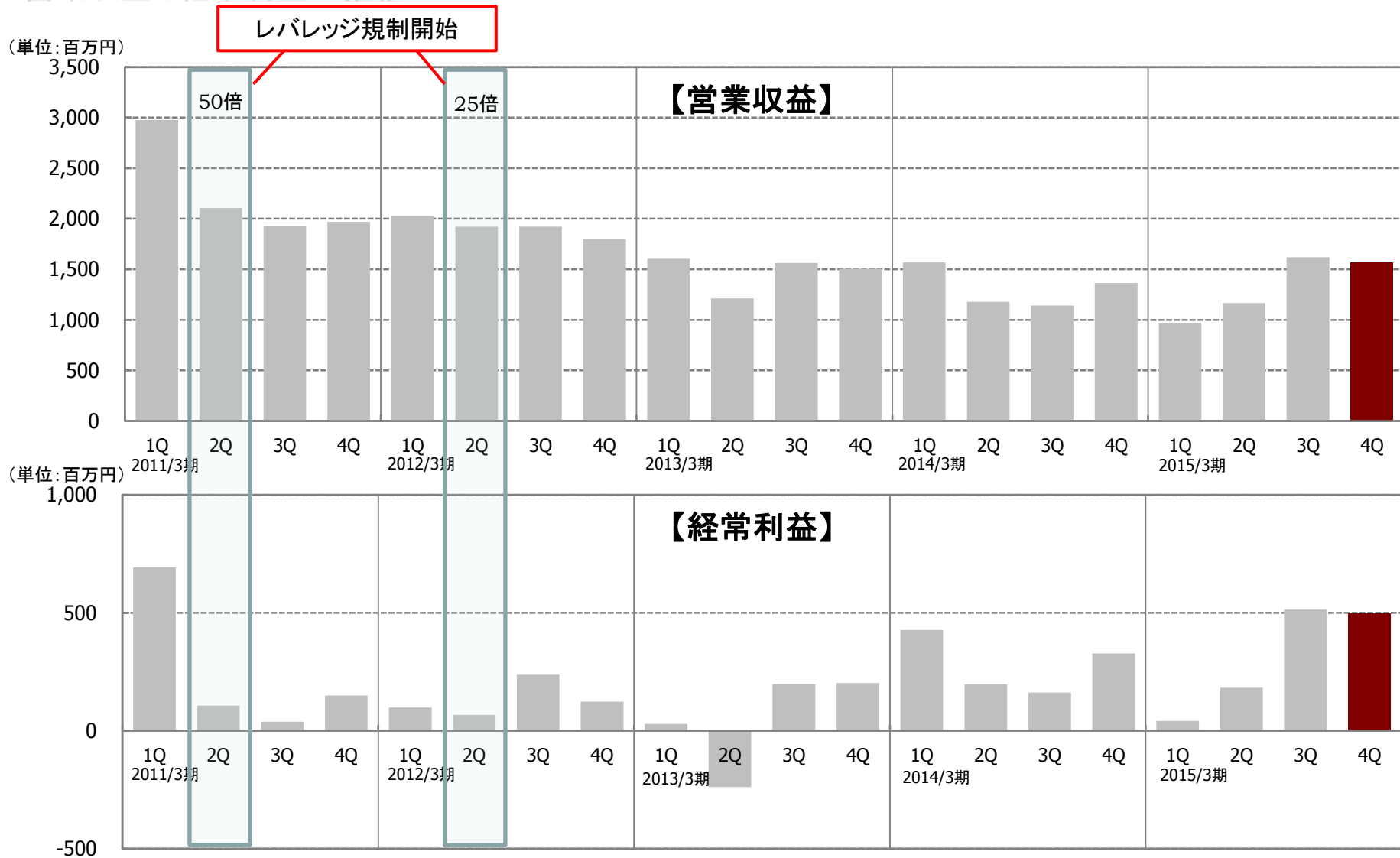
- ④ 当期純利益は、復興特別法人税の廃止等による実効税率の低下もあり前期の663百万円から116百万円、17.6%増の780百万円に。



# レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 営業収益と経常利益の推移





# 2015年3月期第4四半期 決算概況と影響ファクター

Money Partners Group

	2015/3期 3Q 【2014/10 ~ 2014/12】	2015/3期 4Q 【2015/1 ~ 2015/3】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	5,004億通貨単位	3,462億通貨単位	▲30.8%
営業収益	1,618百万円	1,568百万円	▲3.0%
経常利益	513百万円	498百万円	▲3.1%

## 【第4四半期の損益影響ファクター】

前四半期比

取引高



収益性



販管費



- ・ 取引高は、外国為替相場のボラティリティが前四半期と比べ低下したことや、ドル／円を中心に大ロット高頻度取引が大きく減少したことから、前四半期比30.8%減少。
- ・ 収益性を低下させる要因の一つであった高頻度取引の割合が大きく低下したことから、全体の取引高当たり収益性も前四半期比大幅に改善し、取引高減少の影響をほぼ相殺。
- ・ 変動費が取引高減少による減少の一方スポット費用の発生もあり前四半期比ほぼ横這いとなり、販管費全体も前四半期比ほぼ横這いに。

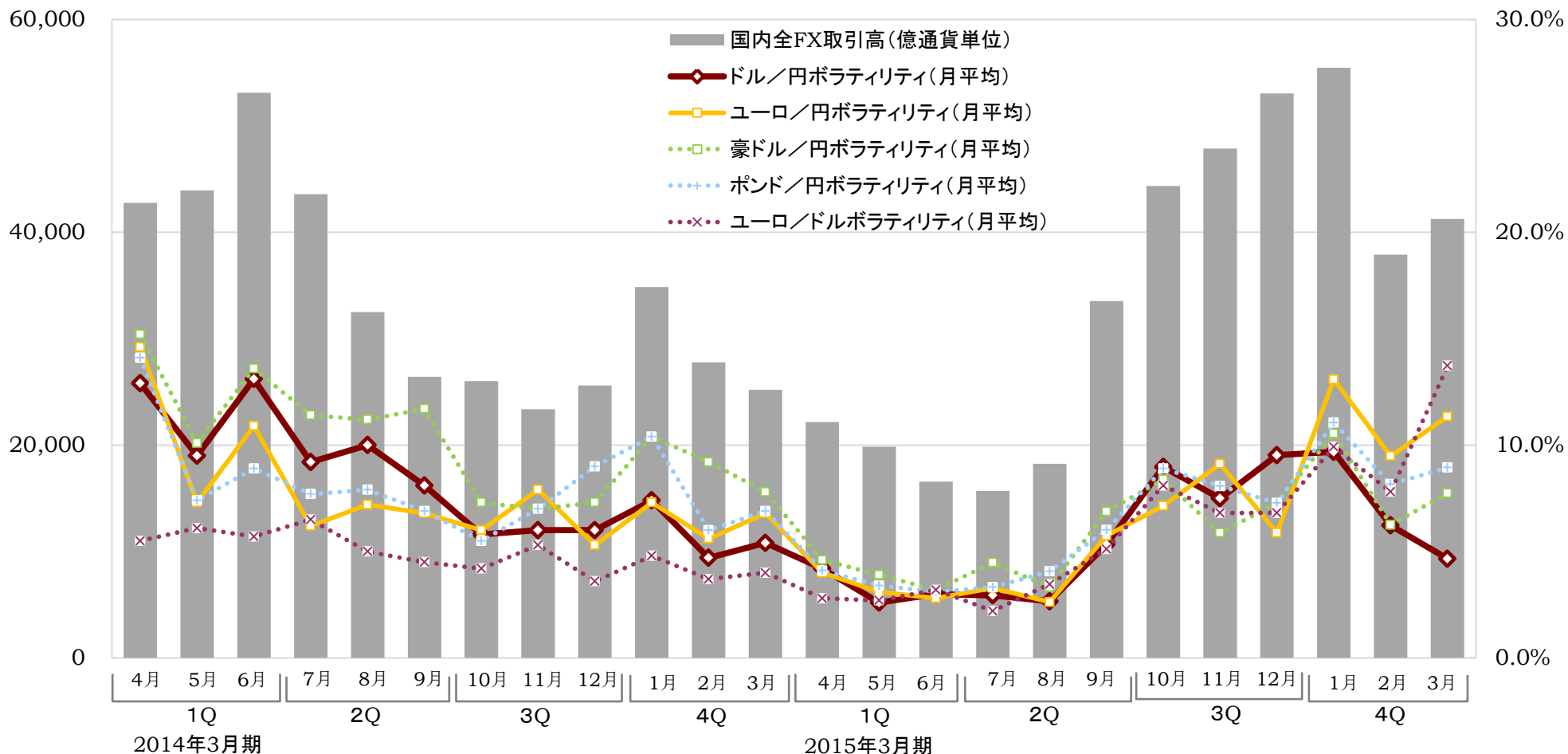




# FX市場の動向

Money Partners Group

## 取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



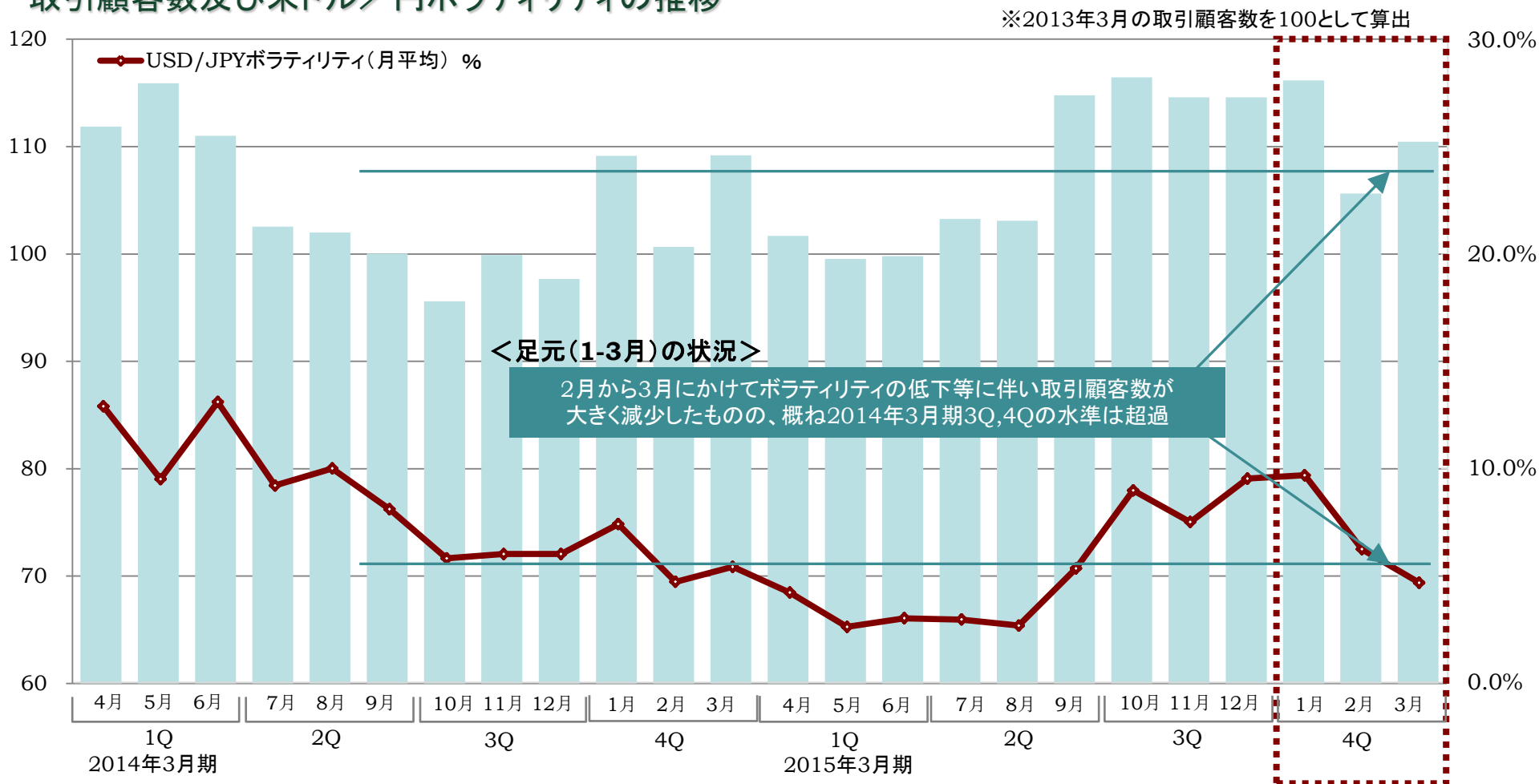
2015年3月期第4四半期の外国為替相場は、前四半期と比べ全体としてのボラティリティは低下。2月、3月のFX取引高はドル/円を中心に減少し、2014年10月～2015年1月の水準を下回った。



# 取引顧客数の推移

Money Partners Group

## 取引顧客数及び米ドル／円ボラティリティの推移



顧客基盤の拡充のため、顧客層の裾野を広げるべくサービス面の改善やブランディングに注力。  
取引顧客数は、外国為替相場の影響を受けつつも、2015年1月以来の増加トレンドを維持。



# 四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2014/3期				2015/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	
営業収益	1,569	1,179	1,142	1,365	969	1,167	1,618	<b>1,568</b>	▲3.0%
受入手数料	3	2	2	2	2	2	4	4	12.3%
トレーディング損益	1,563	1,171	1,136	1,359	963	1,155	1,601	<b>1,554</b>	▲3.0%
金融収益	2	3	3	3	2	3	3	3	16.7%
その他の売上高	0	2	0	0	0	6	9	6	▲31.3%
金融費用	16	16	16	17	18	18	18	19	5.3%
売上原価	0	0	0	0	0	0	0	0	484.1%
純営業収益	1,552	1,163	1,125	1,347	950	1,149	1,599	<b>1,548</b>	▲3.2%
販売費・一般管理費	1,112	973	964	1,039	912	981	1,086	<b>1,075</b>	▲1.1%
営業利益	440	189	161	307	38	167	512	<b>473</b>	▲7.7%
経常利益	427	197	162	328	41	182	513	<b>498</b>	▲3.1%
税金等調整前四半期純利益	412	194	157	327	41	178	505	<b>498</b>	▲1.5%
四半期純利益	247	119	96	200	21	117	325	<b>314</b>	▲3.4%
営業収益経常利益率	27.2%	16.7%	14.3%	24.1%	4.3%	15.6%	31.8%	<b>31.7%</b>	

前四半期と比べ、外国為替相場のボラティリティ低下の影響を受けたものの、営業収益の減収幅は3.0%にとどまる。費用も概ね前四半期から横這いの水準となり、経常利益498百万円、四半期純利益314百万円と当四半期より外部環境のコンディションが良かった2014/3期1Qを超える水準に。



# 四半期販管費推移

Money Partners Group

## ■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位: 百万円

	2014/3期				2015/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	
取引関係費	259	224	240	293	214	249	311	<b>296</b>	▲4.6%
人件費	257	234	231	242	225	233	246	<b>245</b>	▲0.5%
不動産関係費	154	153	146	154	154	161	156	<b>158</b>	1.3%
事務費	283	226	224	226	189	213	249	<b>244</b>	▲2.0%
減価償却費	122	111	99	98	94	94	95	<b>96</b>	0.6%
租税公課	15	13	13	15	15	18	17	<b>21</b>	18.0%
貸倒引当金繰入れ	—	—	—	0	—	—	—	—	—
その他	19	10	8	8	17	10	10	<b>13</b>	32.3%
<b>販売費・一般管理費合計</b>	<b>1,112</b>	<b>973</b>	<b>964</b>	<b>1,039</b>	<b>912</b>	<b>981</b>	<b>1,086</b>	<b>1,075</b>	<b>▲1.1%</b>
(主要な費目)									
広告宣伝費(※1)	79	83	112	158	91	113	132	<b>118</b>	▲11.1%
システム関連費用(※2)	349	285	268	290	247	285	332	<b>330</b>	▲0.4%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

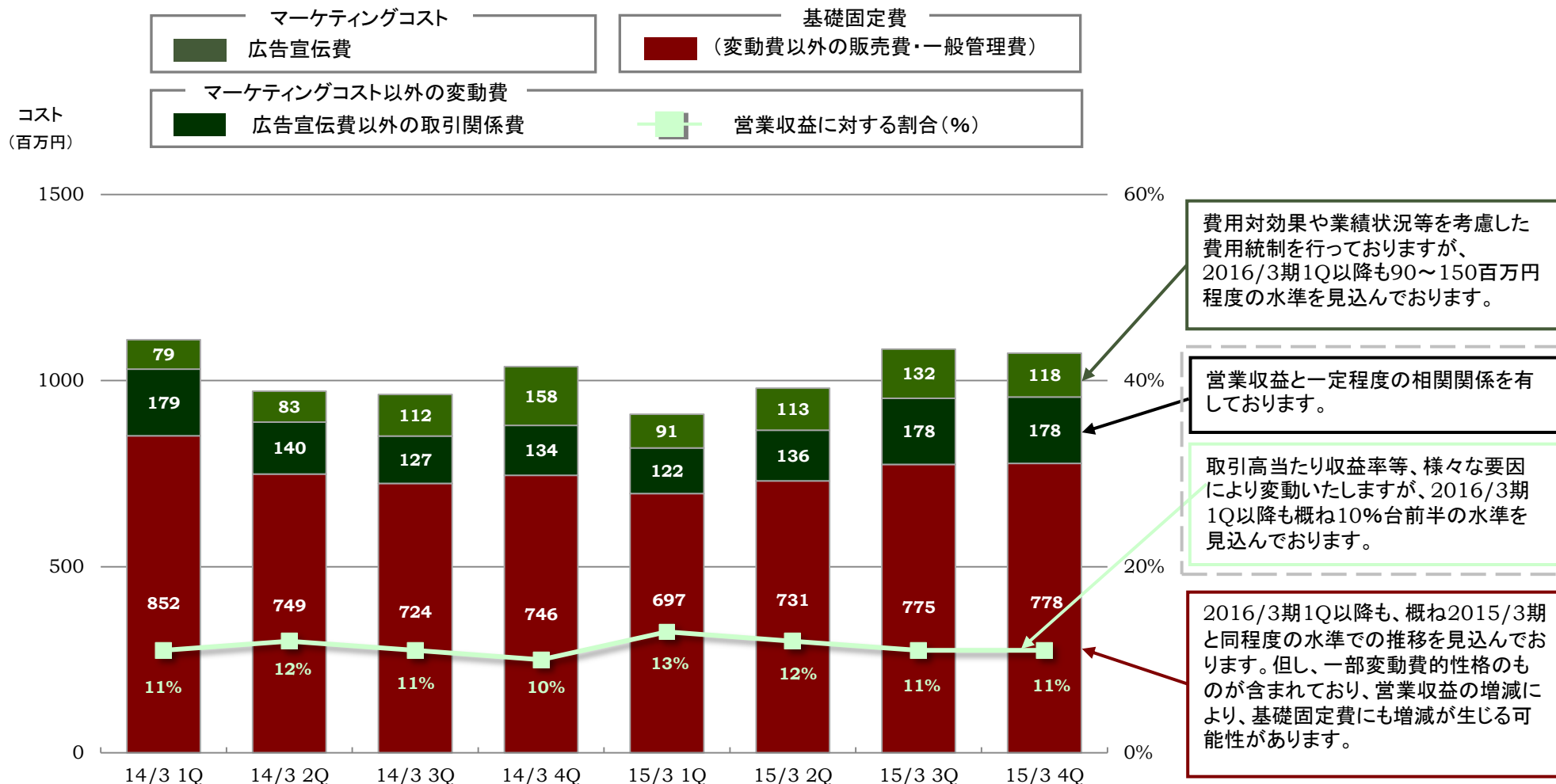
変動費である取引関係費は取引高減少による減少はあったもののスポット費用の発生があり広告宣伝費の減少分を除けばほぼ横這いで推移。固定費(人件費、不動産関係比、事務費等)も前四半期と比べ大きな異動はなく、ほぼ横這いに。



# 四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

## ■ 主要な固定費・変動費の推移



費用対効果や業績状況等を考慮した費用統制を行っておりますが、2016/3期1Q以降も90~150百万円程度の水準を見込んでおります。

営業収益と一定程度の相関関係を有しております。

取引高当たり収益率等、様々な要因により変動いたしますが、2016/3期1Q以降も概ね10%台前半の水準を見込んでおります。

2016/3期1Q以降も、概ね2015/3期と同程度の水準での推移を見込んでおります。但し、一部変動費的性格のものが含まれており、営業収益の増減により、基礎固定費にも増減が生じる可能性があります。

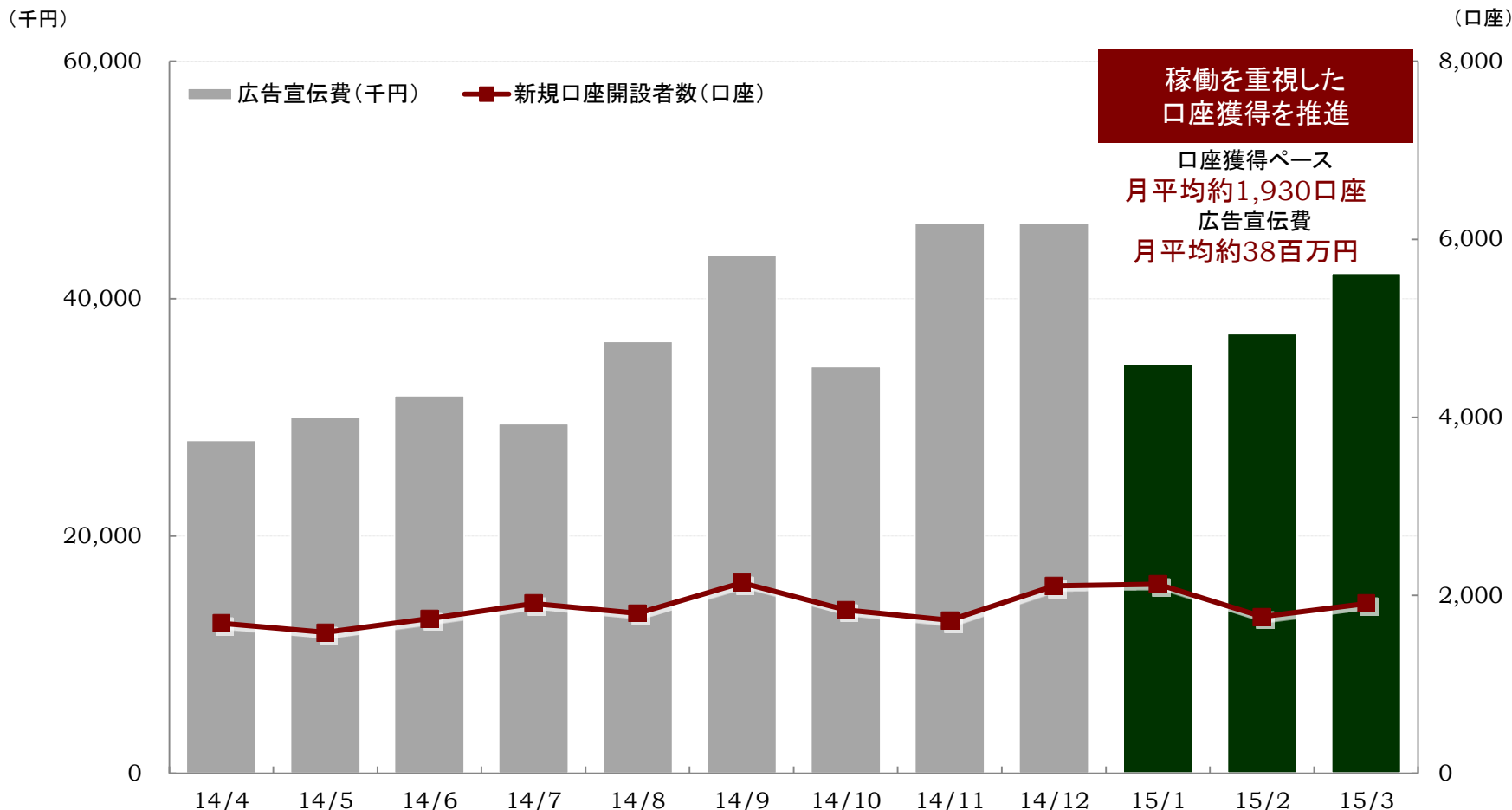
2015年3月期第4四半期の固定費・変動費は、前四半期とほぼ同様の構成となっており、今後についても当面はコスト構造に大きな変化は生じない見込み



# 月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

## ■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



マネパカードのサービス開始に伴うブランディング活動等により広告宣伝費全体は従来と比べ一回り増額した水準で推移。



# 月次業績指標推移

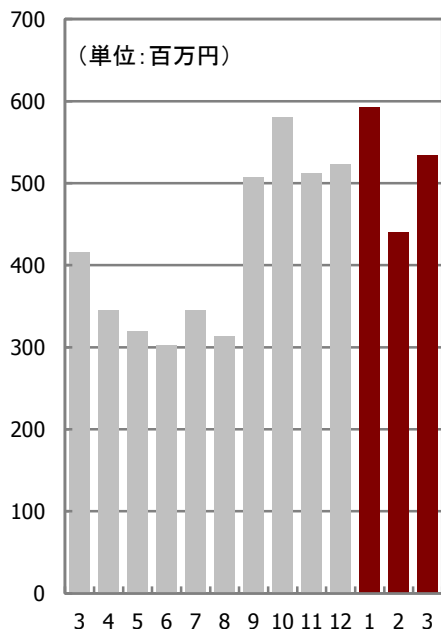
Money Partners Group

## ■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

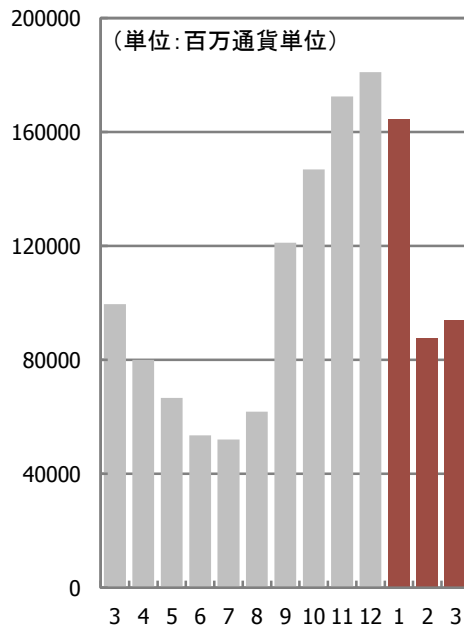
	2014年										2015年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益(百万円)	416	345	320	303	346	313	507	581	512	523	593	440	534
外国為替取引高 (百万通貨単位)	99,614	80,006	66,673	53,476	52,025	61,788	121,116	146,935	172,500	180,985	164,450	87,835	93,958
顧客口座数(口座)	235,807	237,340	238,815	240,435	242,160	243,854	245,880	247,587	249,193	251,189	253,179	254,732	256,494
顧客預り証拠金(百万円)	44,348	44,177	44,098	44,561	45,128	45,214	45,649	46,290	46,008	47,359	48,114	47,653	47,961

※営業収益、取引高は、大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。また、それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

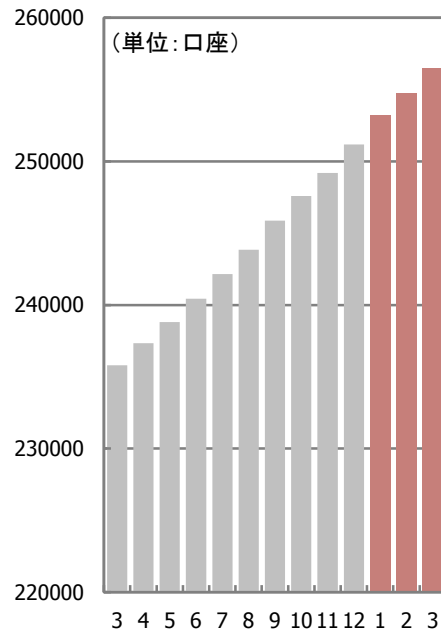
### ■ 営業収益



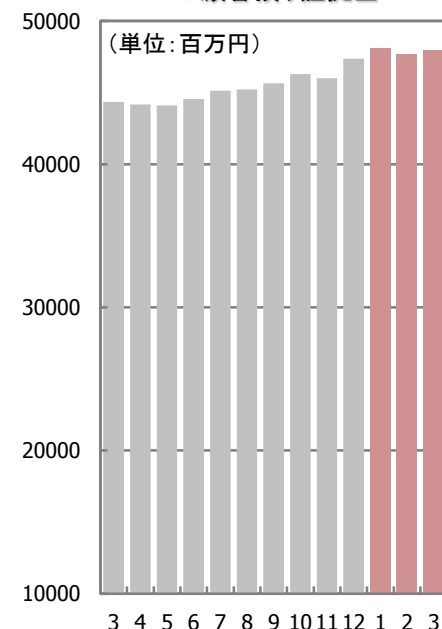
### ■ 外国為替取引高



### ■ 顧客口座数



### ■ 顧客預り証拠金



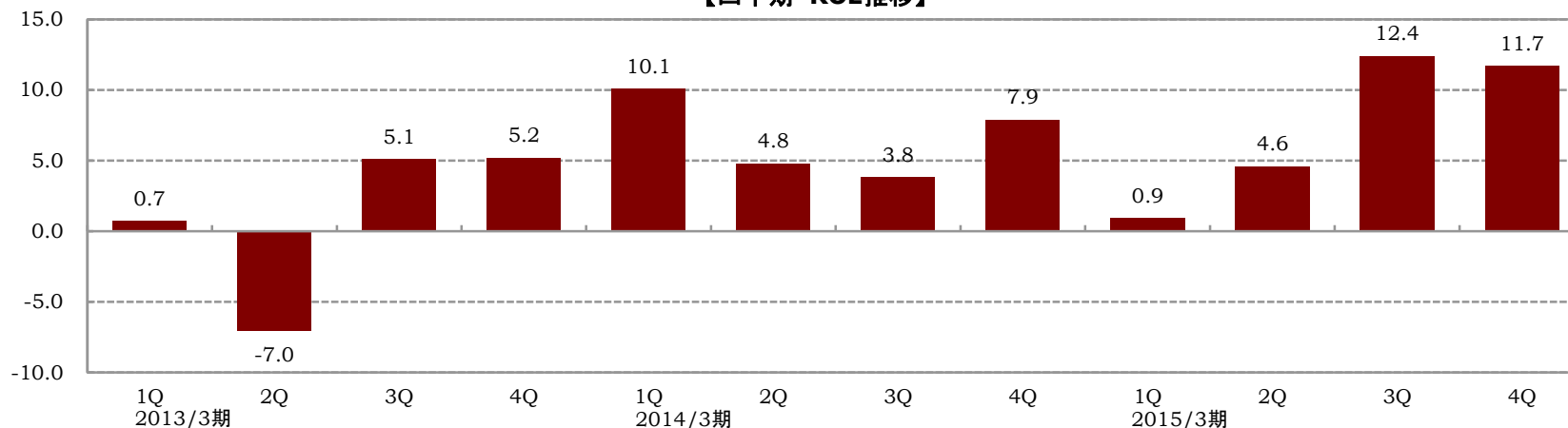


# 主要経営指標推移

Money Partners Group

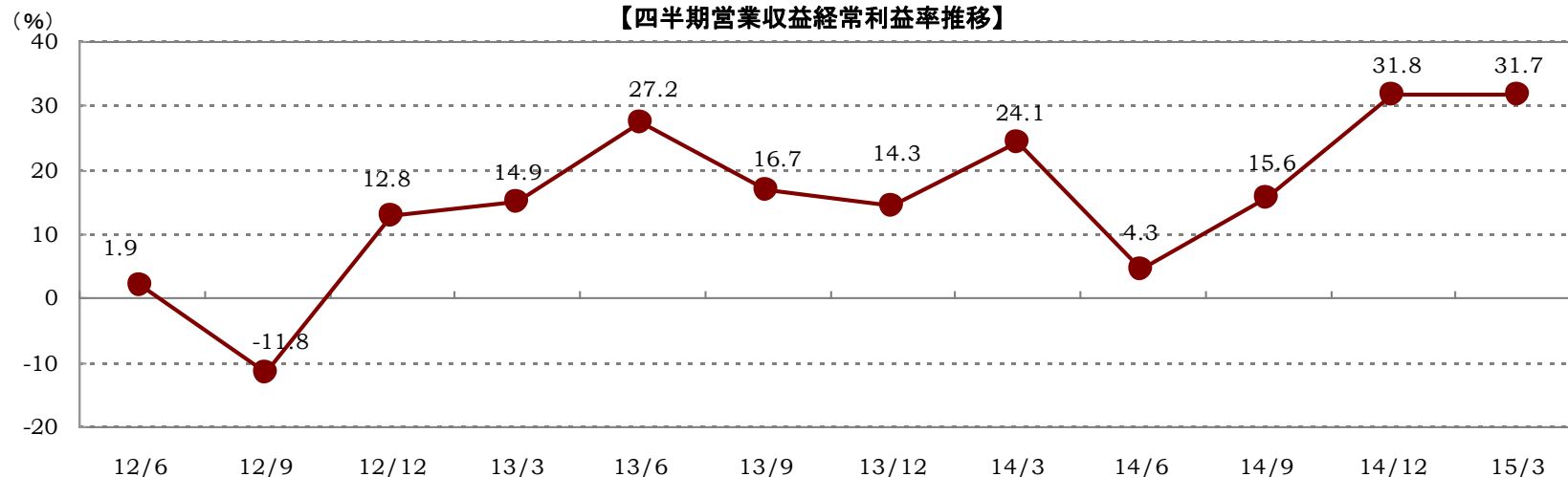
## ■ ROE及び営業収益経常利益率推移

### 【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。  
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

### 【四半期営業収益経常利益率推移】





## Ⅱ.2015年3月期第4四半期の重点施策の進捗状況





# 2015年3月期の重点施策

## 重点課題

収益力強化

顧客基盤拡大  
取引機会創出

## 重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大と収益化
- 顧客基盤の多様化と収益率の更なる向上

# 実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

# 顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

# 収益

- ★ 収益性継続の改善



# 重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

## ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

### カード

## Manepa Card



クレジットカードよりも手数料がお得！  
海外専用プリペイドカード  
プリペイドカードで初！ICチップ付きで不正利用防止

### マネバカードのカンタン便利な 2 ステップ



1 5つの通貨が1枚のカードで使える！  
為替レートを確認して、おトクに外貨をチャージ！

2 旅行先で現地の通貨を使う！  
ATMで現地通貨を引き出したり、  
マスターカードのお店で使う！



金融機関からの提携の引き合いも多く、  
BtoC、BtoBの双方をにらみ事業を推進

### 空港での外貨引渡し

4Q利用者数対前年同四半期比  
約1.45倍！



- ◆ 裾野の広い外国為替取引実需層からの顧客獲得導線を構築
- ◆ 3/21に中国元の取扱いを開始し、現在ドル、ユーロ、ポンド、スイスフラン、韓国ウォン、中国元の6通貨取扱い

### 外貨紙幣の引取り

- ◆ 新たな提携先との取り組み

→提携先は前四半期末比  
39%増

We accept  
USD & EUR here!  
(bills only)

外貨紙幣使えます！

マネーパートナーズ



# 重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

## ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

### スポンサー契約

2015年度 SUPER GT300「マネパランボルギーニGT3」  
スポンサー契約を締結



・サーキットでは、ブースを  
出展しての宣伝活動も  
実施（写真は2014年度）



TVをはじめとするマスメディアを通じて  
社名認知度向上を図る

### ビギナー向け施策

パートナーズFXnano



※例外あり

米ドル  
/円 **0.3** 銭

初心者に最適のnano  
少額取引&業界最狭水準スプレッド

### nano取引顧客数推移

※2013年3月の取引顧客数を100として算出



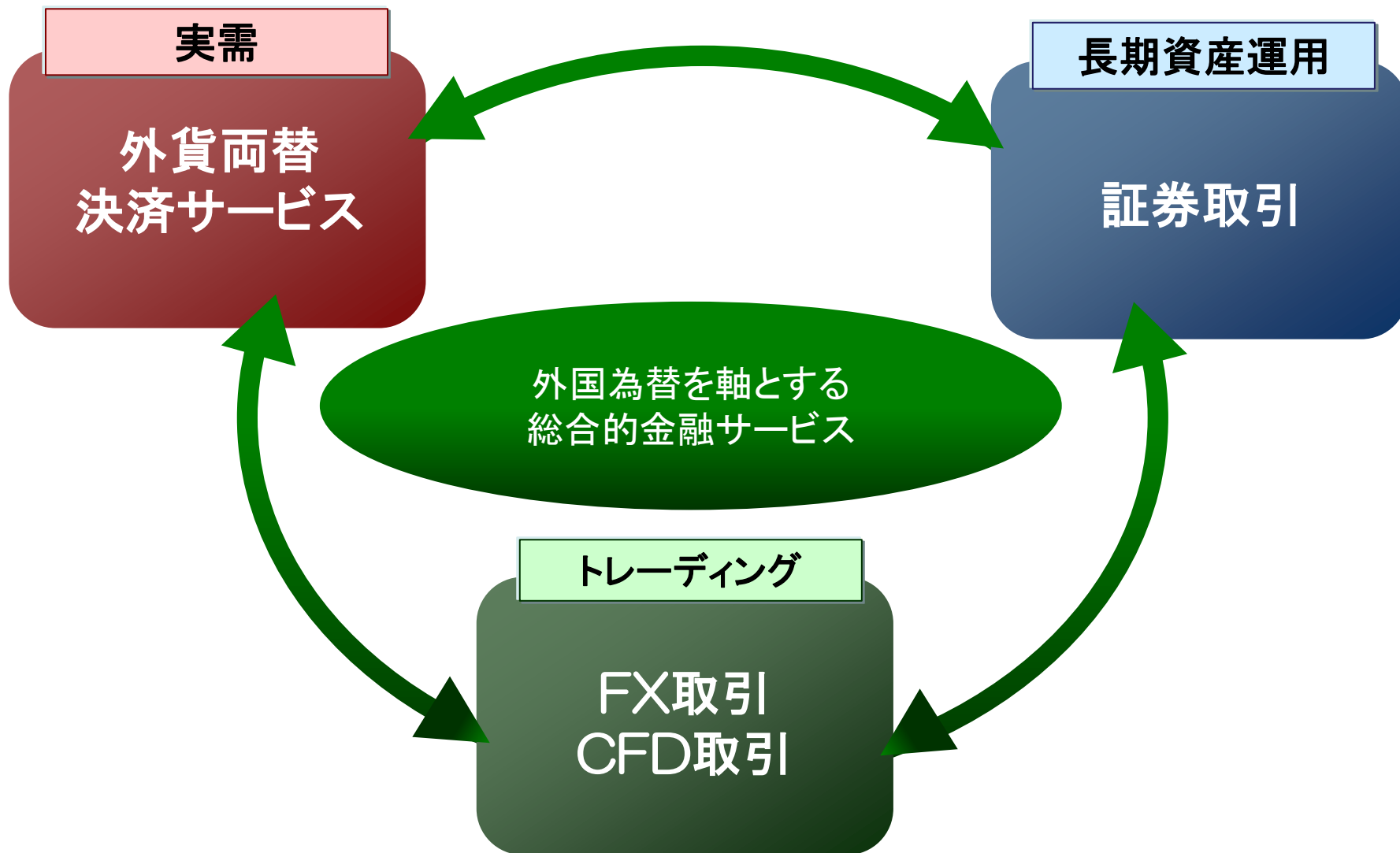
FX初心者層へのアプローチを強化

### Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





# 中長期的な経営戦略 ～独自ポジションの構築



## IV. 当社の経営目標及び株主還元について





## ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2015年3月期第4四半期(2015年1~3月)のROEは11.7%**

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2015年3月期第4四半期(2015年1~3月)の営業収益経常利益率は31.7%**





## 業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

### 配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末** (年2回)

	2014年3月期				2015年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
当期純利益(百万円)	247	119	96	200	21	117	325	314	
上段:3ヶ月	247	366	463	663	21	139	465	780	
下段:累計									
配当金の総額 (百万円)	90		120		45		197		
期末発行済 株式総数(株)	322,110 (内、自己株式20,023)		32,223,000 ※1 (内、自己株式2,002,300)		32,241,000 (内、自己株式2,002,300)		32,459,900 (内、自己株式2,002,300)		
1株当たり 配当金	中間・期末	300円		4円		1.5円		6.5円	
	年間	7円 ※2				8円			

※1 2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

※2 2014年3月期の期首に株式分割が行われたものと仮定して、1株当たりの配当金額を算出しております。



# 取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会  
一般社団法人日本資金決済業協会

# 2015年3月期 決算説明会



**Money Partners Group**

株式会社 マネーパートナーズグループ